

福岡市地下鉄 中期経営指針

平成26年度～平成30年度

資料編

目 次

1. 取組施策一覧 1 ページ

- (1) 安心してご利用いただける地下鉄を目指します
- (2) 誰にでも利用しやすく、魅力的な地下鉄を目指します
- (3) 環境にやさしい地下鉄を目指します
- (4) 長期的な視点に立った経営健全化を推進します

2. 経営状況等 13 ページ

1. 取組施策一覧

(1) 安心してご利用いただける 地下鉄を目指します

| 項目 | 内容 |
|-------------------|--|
| 安全最優先の組織 風土の確立 | 「安全マネジメントの推進」 安全に関する基本方針，管理体制などを定めた「安全管理規程」を踏まえ，各管理者の現場巡視，安全重点施策の推進など，経営トップから現場まで一丸となった取組を推進する。 [主な取組] <ul style="list-style-type: none">・安全重点施策策定（毎年）・安全報告書の作成、公表（毎年）・安全推進会議の開催（4回／年）・各専門部会の開催（1回／月）・内部監査の実施（1回／年）・安全マネジメント教育訓練（全職員対象：1回／年）・交通事業管理者等の現場巡視（2～3回／年） （随時実施） |
| 教育訓練，資質管理の徹底 | 「教育訓練等の実施」 乗務員，駅係員，保守係員等について，必要な知識及び技能の向上を図るため，教育訓練・研修の充実を図るとともに，万一の災害に備えて避難誘導や復旧訓練等を実施する。 また，必要とされる適性，知識及び技能の確認などの資質管理を徹底する。 [主な取組] <ul style="list-style-type: none">・乗務員定期教育訓練（4回／年），駅係員定期教育訓練（2回／年），運輸指令員定期教育訓練（10回／年）・施設・車両関係係員教育訓練（随時）・自然災害時等の避難誘導・復旧訓練の実施・駅係員全員の普通救命講習の受講・運転管理者による乗務員の資質管理の徹底・乗務前のアルコール測定の実施（管理値0.10mg/ℓ未満） （随時実施） |

| | |
|------------------------|---|
| | <p>「事故・災害等発生を想定した各種訓練の実施」 万一の事故・災害等に備え、事故復旧に関する教育訓練及び実地訓練を定期的に実施する。</p> <p>[主な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故復旧規程及びその運用に係る教育訓練 ・ 博多駅・天神駅浸水防止訓練 ・ 局内統一訓練 ・ 事故復旧シミュレーション訓練 ・ 緊急地震速報対応訓練 ・ 車両脱線復旧訓練 <p style="text-align: right;">(随時実施)</p> <p>「教習設備の改修」 乗務員，駅務員，運輸指令員等のヒューマンエラーによる運行トラブル防止，異常時対応能力の向上を目的に，訓練用教材である，運転教習設備の異常時対応訓練機能を向上させる。</p> <p style="text-align: right;">(平成 26 年度実施)</p> |
| 人材育成・技術の 継承 | <p>「職員育成方針の策定」 交通局における，安全を支える専門的知識を有する職員を育成するための方針を策定する。</p> <p style="text-align: right;">(平成 26 年度実施)</p> |
| | <p>「研修計画の策定」 「職員育成方針」に基づき，専門性の高い鉄道事業に従事する職員に必要な能力・技術の修得を図るため，職員の研修計画を策定する。</p> <p style="text-align: right;">(平成 26 年度実施)</p> |
| | <p>「専門資格の取得、自主研究会に対する支援」 職員の自主的な専門技術の習得を奨励、推進するため、職員による鉄道設計技士等の専門資格の取得や、専門技術に係る職員の自主研究会に対する支援を行う。</p> <p style="text-align: right;">(平成 19 年度より実施)</p> |
| | <p>「技術研究発表会の開催」 局独自の技術研究発表会を開催することにより，職員が習得した専門技術等の共有や，専門技術等の習得に対する意欲の向上を図る。</p> <p style="text-align: right;">(平成 23 年度より実施)</p> |

| | |
|-----------------------|---|
| 車両，施設等の安全管理の徹底 | <p>「車両，施設等の保守」</p> <p>地下鉄の安全運行を確保するために，国土交通省令をもとに，本市の施設整備の状況等を踏まえ、さらに充実を図った整備基準に基づき，確実に検査，修繕を実施する。</p> <p style="text-align: right;">(随時実施)</p> |
| | <p>「ATC（自動列車制御装置）の改良」</p> <p>地下鉄の安全運行を確保するため，ATC（自動列車制御装置）等の改良を年次計画により進める。</p> <p>※ATC…列車速度を自動的に制限速度以下に制御する装置</p> <p style="text-align: right;">(平成 18 年度から順次更新)</p> |
| | <p>「土木構造物改良工事の拡充」</p> <p>トンネルや高架橋などの土木構造物について，毎年の構造物検査において劣化等の状況把握を行うとともに，改良工事を拡充し，安全性の向上を図る。</p> <p style="text-align: right;">(平成 26 年度より拡充)</p> |
| | <p>「変電所受配電設備等の改良」</p> <p>経年劣化した変電所施設の性能を向上させるため，受配電設備等の改良を年次計画により進める。</p> <p style="text-align: right;">(平成 17 年度から順次更新)</p> |
| | <p>「空調・換気等自動制御装置の改良」</p> <p>経年劣化した自動制御装置の更新を年次計画により進める。</p> <p>※自動制御装置…駅やトンネルの換気・空調，排煙，給排水などを自動で制御する設備</p> <p style="text-align: right;">(平成 20 年度から順次実施)</p> |
| | <p>「車両の改良」</p> <p>安全運行を確保するため，車両の改良を年次計画により進める。</p> <p>[主な取組]</p> <p>【1000N系車両】</p> <p>車体改修，列車制御装置オーバーホール 運転保安装置改良 等</p> <p>【2000系車両】</p> <p>列車制御装置更新，運転保安装置改良 主回路オーバーホール 等</p> <p style="text-align: right;">(順次実施)</p> |

**(2) 誰にでも利用しやすく、魅力的な
地下鉄を目指します**

| 項 目 | 内 容 | | |
|---|---|--|----------------------------|
| 「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄の実現に向けた取組 | <p>「駅トイレのリニューアル」</p> <p>トイレ入口の段差解消やオストメイト対応の多機能トイレの整備などを年次計画により進める。</p> <p style="text-align: right;">(平成 18 年度から順次実施)</p> | | |
| | <p>「車内優先座席の拡大」</p> <p>優先座席を利用されるお客様の利便性向上を図るため、全車両において優先座席の増設を行う。</p> <p>(1 編成あたりの優先席数)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港線・箱崎線 (1000N・2000 系) ・ 七隈線 (3000 系) </td> <td style="padding: 5px; text-align: right;"> 30 席 → 42 席 20 席 → 33 席 </td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">(平成 26 年度実施)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港線・箱崎線 (1000N・2000 系) ・ 七隈線 (3000 系) | 30 席 → 42 席 20 席 → 33 席 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 空港線・箱崎線 (1000N・2000 系) ・ 七隈線 (3000 系) | 30 席 → 42 席 20 席 → 33 席 | |
| | <p>「駅施設等の改良」</p> <p>経年劣化した空港線・箱崎線の駅を計画的に改良し、リフレッシュを図るとともに、駅階段の段差明瞭化や誘導ブロックの改良を行うなど、明るく快適な駅づくりを進める。</p> <p style="text-align: right;">(平成 23 年度から順次実施)</p> | | |
| | <p>「駅構内の案内サインの改善等に向けた検討」</p> <p>駅構内の案内サインについて、全般的に点検を行い、さらに利便性の高い案内サインの実現に向けて検討を行う。</p> <p style="text-align: right;">(随時実施)</p> | | |
| <p>「サービス介助士資格取得の推進」</p> <p>「おもてなしの心」と「安全な介助技術」を身につけ、駅係員のサービス水準の一層の向上を図るため、駅務助役のサービス介助士資格の取得を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(平成 24 年度より実施)</p> | | | |

| | |
|------------------------------|--|
| 情報提供サービスの強化、地下鉄の魅力の発信 | <p>「列車案内表示のリニューアル」</p> <p>改札口やホームに設置している列車案内表示設備をリニューアルし、案内情報の充実、見やすさ・分かりやすさの向上を図る。</p> <p>[主な改善点]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗換えに便利な情報の提供 ・遅れ時分の表示（発車時刻は常時表示する） ・J R 快速列車の表示（放送） ・表示スペースを2段から3段へ拡大（ホーム） ・マルチカラー（7色）LED式の表示器（接続駅） <p style="text-align: right;">（平成26年度実施）</p> |
| | <p>「一体的な運行情報の提供」</p> <p>携帯端末（スマートフォン等）や改札口付近の新設する大型モニターテレビ、交通局ホームページに、地下鉄路線全体のリアルタイムの運行情報を提供する。</p> <p>また、J R 九州や西鉄との連携を強化し、他社の運行情報を合わせて表示するなど、一体的な運行情報の提供を目指す。</p> <p style="text-align: right;">（平成26年度実施）</p> |
| | <p>「地下鉄ホームページのリニューアル」</p> <p>「お出かけ案内」などの観光情報やスマートフォン用ホームページの充実等を図り、地下鉄の魅力を積極的に発信していく。</p> <p style="text-align: right;">（随時実施）</p> |
| | <p>「外国語サポートサービス」</p> <p>3カ国語（英語、韓国語、中国語）に対応する、オペレーターによる電話を利用した通訳システムを全駅窓口、お客様サービスセンター7箇所で開催する。</p> <p style="text-align: right;">（平成21年度より実施）</p> |
| | <p>「福岡マラソン関連事業」</p> <p>「福岡マラソン」を交通局として盛り上げ、地下鉄のPR等につなげるため、地下鉄とマラソンコースを関連付けたウォークラリーや記念乗車券の発売等を実施する。</p> <p>また、大会当日の参加者等の安全で円滑な移動のため、臨時列車の運行等の対応を検討する。</p> <p style="text-align: right;">（平成26年度実施）</p> |

| | |
|----------------------------------|--|
| | <p>「黒田官兵衛プロジェクト関連事業」</p> <p>観光客誘致に向けた全市的な取組と連携を図り、福岡を訪れた観光客が官兵衛ゆかりの地を巡る際の交通手段として、地下鉄においても積極的にPRを行う。</p> <p style="text-align: right;">(平成25年度より実施)</p> <p>「海外からの観光客に向けた情報発信」</p> <p>海外からの観光客の地下鉄利用を促進するため、外国人ブロガーの発信力を活用したWebや観光案内誌でのPR、「FUKUOKA TOURIST CITY PASS」の販売促進等を行っていく。</p> <p style="text-align: right;">(随時実施)</p> |
| <p>快適にご利用いただくための環境づくり</p> | <p>「ICカード「はやかけん」の活用」</p> <p>相互利用を行う他事業者との連携などによりPRを行い、さらなる普及促進を図るとともに、電子マネー加盟店を順次拡大し、利便性の向上を図る。</p> <p>また、民間事業者との連携による、「はやかけん」を活用したパーク&ライド優待サービスの拡大や、「はやかけん」の機能を活かしたさらなるサービスの向上について検討を進める。</p> <p style="text-align: right;">(随時実施)</p> |
| | <p>「乗車マナー向上の取組」</p> <p>お客様に地下鉄を快適にご利用いただくため、乗車マナー向上に向けた取組を推進していく。</p> <p>[主な取組]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗車マナーに関する駅構内放送 ・駅構内及び車内吊りマナーポスターの掲示 ・巡回指導員及び職員の車内や駅構内の巡回 ・学校等と一体となった乗車マナー向上キャンペーン ・警察や他の鉄道事業者等との合同キャンペーン ・エスカレーター安全利用の啓発 ・乗車マナー向上協力宣言校との連携 <p style="text-align: right;">(随時実施)</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>「福岡空港駅改造事業」</p> <p>福岡空港の平行誘導路二重化やターミナルビルの移設に伴い、利用者動線が変化することを踏まえ、地下鉄駅についても、より利便性の高い駅レイアウトへの変更を行う。</p> <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新ターミナルビルに合わせた出入口移設や新改札口設置等のレイアウト変更 ・駅トイレのバリアフリー化の推進 ・駅コンコースから地上へのエレベーターの整備 <p style="text-align: right;">(平成 25 年度～平成 29 年度実施)</p> <p>「ダイヤ改正等の検討」</p> <p>お客様にとって、より利用しやすいダイヤの実現に向けて、運転時刻の見直し、他社路線との乗継・接続等の改善などに取り組む。また、地下鉄沿線で開催される各種イベントに合わせた臨時列車の運行について、随時検討を行う。 (随時実施)</p> <p>「他交通事業者との連携強化」</p> <p>公共交通機関全体としての利用促進や利便性向上等を図るため、他交通事業者等と共同で、天神・博多駅における「公共交通マップ」を作成するほか、地下鉄駅にバス接近情報を表示する「バスナビテレビ」の設置を行うなど、交通事業者間の連携を強化する。 (随時実施)</p> <p>「パーク&ライドの推進」</p> <p>関係局や民間事業者等と連携を図りながら、パーク&ライド利用者の拡大に努めていく。 (随時実施)</p> <p>「お客様の声」</p> <p>「お客様の声」でいただいたご意見については、経営トップまで迅速に情報共有を図るとともに、改善等に積極的に活用していく。また、お客様からのご意見を改善に活かした事例をホームページで紹介していく。 (随時実施)</p> <p>「地下鉄モニター制度」</p> <p>日頃から地下鉄をご利用のお客様にモニターになっていただき、モニターからいただいた評価・ご意見等を地下鉄事業の運営に活用する「地下鉄モニター制度」を継続して実施する。</p> <p>また、さらに幅広いご意見をいただくために、地下鉄をご利用の外国人によるモニター制度を実施する。</p> <p style="text-align: right;">(平成 20 年度から実施)</p> |
|--|--|

(3) 環境にやさしい

地下鉄を目指します

| 項 目 | 内 容 |
|---------|---|
| 省エネ等の取組 | 「駅照明等のLED化」 駅施設の省エネルギー化を推進するため、ホーム、コンコース及び出入口の照明や誘導灯のLED化を年次計画により推進する。 (平成24年度から順次実施) |
| | 「駅務室系統空調設備の省エネ化」 駅務室系空調設備の更新に合わせ、ダクトで冷温風を送る中央方式から個別空調方式(ビル用マルチエアコン)への見直しを行うとともに、室外機の排熱改良による効率化を図り、省エネルギー化を推進する。 (平成25年度から順次実施) |
| | 「屋根貸し太陽光発電事業の検討」 太陽光発電パネルを設置する事業者には交通局保有施設の屋根等の使用を許可する「屋根貸し太陽光発電事業」の実施について検討する。 (平成26年度からの実施を検討) |
| | 「省エネ診断事業の推進」 保有施設の省エネ対策を民間企業に実施してもらい、企業へは省エネにかかるコスト削減額の中から一定額を報酬として支払う「省エネ診断事業」の推進に向けて、実施可能施設の検討を行う。 (随時実施) |
| | 「ICカード「はやかけん」の普及」 券売機等で入金(チャージ)することで、繰り返し利用でき、環境にやさしいICカード「はやかけん」の普及に積極的に取り組む。 (随時実施) |

| | |
|------------------------------|---|
| | <p>「空調・換気等自動制御装置の省エネ化」</p> <p>駅の空調・給排水・防災設備等を制御する自動制御装置の更新に合わせ、制御方法の見直しを行い、より一層の省エネルギー化を図る。</p> <p>(平成 20 年度から順次実施)</p> <p>「きっぷのリサイクル」</p> <p>使用済み乗車券をリサイクルし、トイレトペーパー等への再利用を行う。</p> <p>(平成 8 年度から実施)</p> <p>「雨水循環利用システムの活用」</p> <p>橋本車両基地内にて、雨水を車体の洗浄水として利用した後、水洗トイレ用の水として再利用する「雨水循環利用システム」等を設置しており、今後とも、貴重な水資源の有効活用を行っていく。</p> <p>(平成 16 年度から実施)</p> |
| <p>環境関連イベント、啓発活動等</p> | <p>「SUBWAY DIET (サブウェイ ダイエット)」</p> <p>「駅まで歩く、駅から歩く。」をスローガンに、地下鉄利用による環境への貢献や、駅まで歩くことによる心身の健康づくりなどのライフスタイルを提案するプロモーション活動を、区役所や企業等と連携し実施する。</p> <p>【主な取組】</p> <p>(SUBWAY DIET WALKING)</p> <p>各区作成の健康づくりを目的としたウォーキングコースマップを活用し、「地下鉄沿線ウォーキングコースマップ BOOK」を作成、配布する。</p> <p>(SUBWAY DIET MUSIC)</p> <p>九州交響楽団と連携し、心と体両方の健康を目指して、携帯音楽プレーヤー向けの楽曲音源の配信や、駅構内での楽曲放送を行う。</p> <p>(SUBWAY DIET PHOTO)</p> <p>スマートフォンやデジタルカメラで撮影した地下鉄沿線の写真を Web 上で投稿する「ぶらりスナップ大賞」開催する。</p> <p>(平成 20 年度から実施)</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>「エコちかきっぷの発売」</p> <p>土・日・祝日のお出かけをマイカーから地下鉄に転換していただくことで、都心部の渋滞緩和や地球温暖化防止に寄与することを目的とした「エコちかきっぷ」を発売する。</p> <p>(平成 20 年度から実施)</p> |
| | <p>「環境施策推進部会」</p> <p>環境施策推進部会を四半期毎に開催し、省エネ目標の達成状況等の進行管理を行うとともに、さらなる環境負荷低減施策の検討等を行い、局全体として環境施策を推進する。</p> <p>(平成 21 年度から実施)</p> |
| | <p>「環境フェスティバル等への参加」</p> <p>環境フェスティバルなど環境関連のイベントに積極的に参加し、環境問題への地下鉄の取組や、地下鉄の利用促進による環境への貢献について、広く市民に向けてPRを行っていく。</p> <p>(随時実施)</p> |
| | <p>「エコウェイステーション」(七隈線延伸事業)</p> <p>七隈線延伸事業において新たに整備する中間駅(仮称)について、最新エネルギー技術の導入等により、快適性はそのままに駅の消費エネルギーを50%削減する「エコウェイステーション」を目指し、検討を行う。</p> <p>(随時実施)</p> |

**(4) 長期的な視点に立った
経営健全化を推進します**

| 項 目 | 内 容 |
|---------------|---|
| 増客増収施策 | <p>「利用しやすい乗車券の発売」</p> <p>地下鉄全線が乗り放題になる定期券「ちかパス」や、1 駅区間を100円で乗車できる「おとなりきっぷ」、改札機にタッチするだけで利用でき、紛失・盗難時の再発行が可能なICカード「はやかけん」など、お客様にとって利便性の高い乗車券の販売を促進していく。</p> <p>また、他交通事業者と連携を図りながら、相互利用が可能な「はやかけん」の普及促進や、「FUKUOKA TOURIST CITY PASS」、 「伊都・キャンパス回数券」、 「伊都・シーサイド回数券」の販売促進を図るなど、公共交通機関全体としての利用促進、利便性向上を目指していく。 (随時実施)</p> |
| | <p>「乗客誘致プロモーション活動の強化」</p> <p>沿線地域のイベントとの連携や、民間とのタイアップによるキャンペーンの実施など、沿線地域や大学、民間企業等と連携を図りながら、乗客誘致プロモーション活動の強化を図る。 (随時実施)</p> |
| | <p>「広告営業の強化」</p> <p>既存広告媒体の販売方法の見直しや販売促進キャンペーン等の実施により、広告料収入の確保に努めるとともに、ニーズに対応した新規広告媒体についても継続して検討を行う。 (随時実施)</p> |
| | <p>「駅構内施設の拡大」</p> <p>駅構内への新規店舗や利便施設の誘致を促進するなど、資産の有効活用を推進し、賃貸料収入の増収と利便性向上を目指していく。 (随時実施)</p> |
| | <p>「屋根貸し太陽光発電事業の検討」</p> <p>太陽光発電パネルを設置する事業者に交通局保有施設の屋根等の使用を許可する「屋根貸し太陽光発電事業」の実施について検討し、保有施設を活用した賃料収入の確保を目指す。 (平成26年度からの実施を検討)</p> |

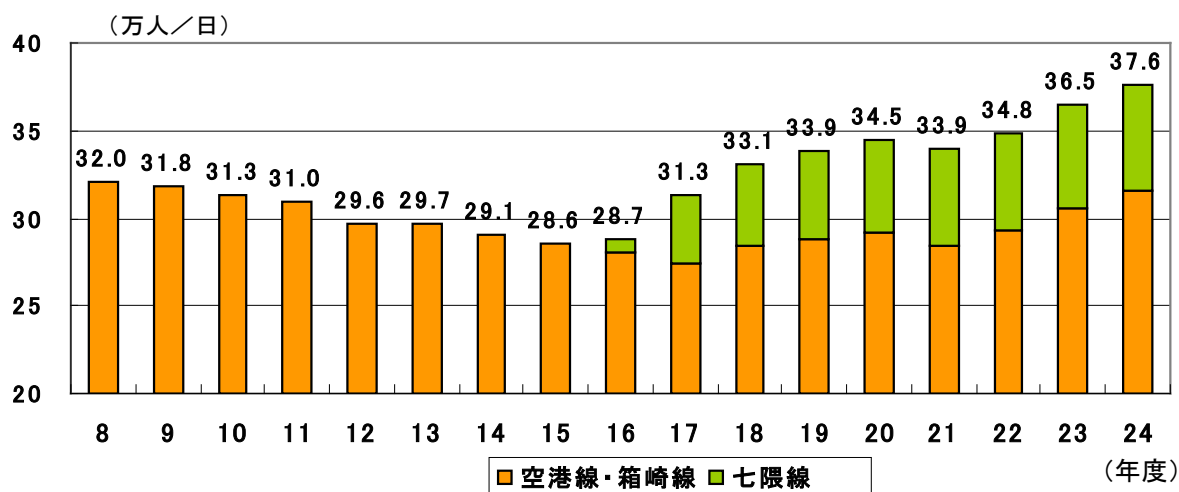
| | |
|-----------------|--|
| 経費の削減 | <p>「より一層の業務の効率化の推進」</p> <p>通信施設保守業務委託の効率化や駅務室系統空調設備の更新に合わせた光熱水費，保守費の削減，事務経費の見直しなどに取り組み，より一層の業務の効率化を推進する。</p> <p style="text-align: right;">(随時実施)</p> |
| | <p>「アセットマネジメントの推進」</p> <p>平成22年3月に策定した「福岡市交通局アセットマネジメント実行計画」に基づき，安全・安心を最優先に、長寿命化やコスト削減等を図り，長期的な視点で，効率的・効果的な維持・管理を行っていく。</p> <p style="text-align: right;">(随時実施)</p> |
| | <p>「支払利息の削減」</p> <p>投資の平準化を図るなど，長期的な視点で企業債残高の縮減を進めるとともに，国の制度等を踏まえながら，随時，借換え等の検討を行い，着実な支払利息の削減に取り組んでいく。</p> <p style="text-align: right;">(随時実施)</p> |
| 効率的な組織運営 | <p>「駅業務の民間委託化の推進」</p> <p>箱崎線・七隈線で実施している駅業務の民間委託を空港線においても順次実施する。</p> <p>平成26年度に大濠公園駅，赤坂駅の2駅，平成27年度に唐人町駅の1駅を民間に委託し，その後も職員の退職にあわせ，着実に進めていく。</p> <p style="text-align: right;">(平成26年度から順次実施)</p> |

2. 経営状況等

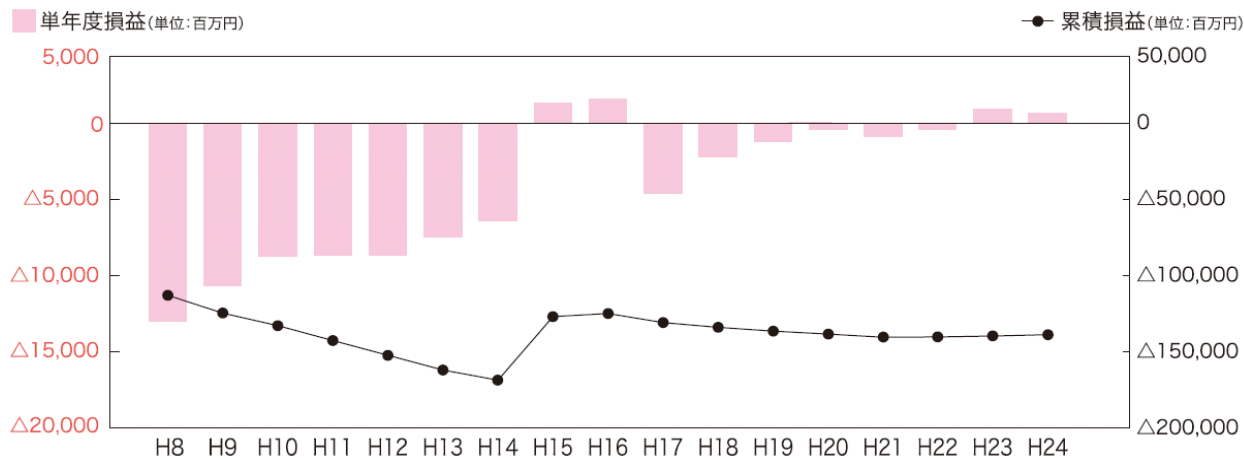
(1) 開業の経緯

| 開業年月日 | 開業区間 | 営業キロ(累計) |
|-------------|------------------|----------|
| 昭和56年7月26日 | 室見～天神 | 5.8km |
| 昭和57年4月20日 | 天神～中洲川端、中洲川端～呉服町 | 7.1km |
| 昭和58年3月22日 | 姪浜～室見、中洲川端～博多(仮) | 10.0km |
| 昭和59年4月27日 | 呉服町～馬出九大病院前 | 11.6km |
| 昭和60年3月3日 | 博多(仮)～博多 | 11.9km |
| 昭和61年1月31日 | 馬出九大病院前～箱崎九大前 | 13.5km |
| 昭和61年11月12日 | 箱崎九大前～貝塚 | 14.5km |
| 平成5年3月3日 | 博多～福岡空港 | 17.8km |
| 平成17年2月3日 | 橋本～天神南 | 29.8km |

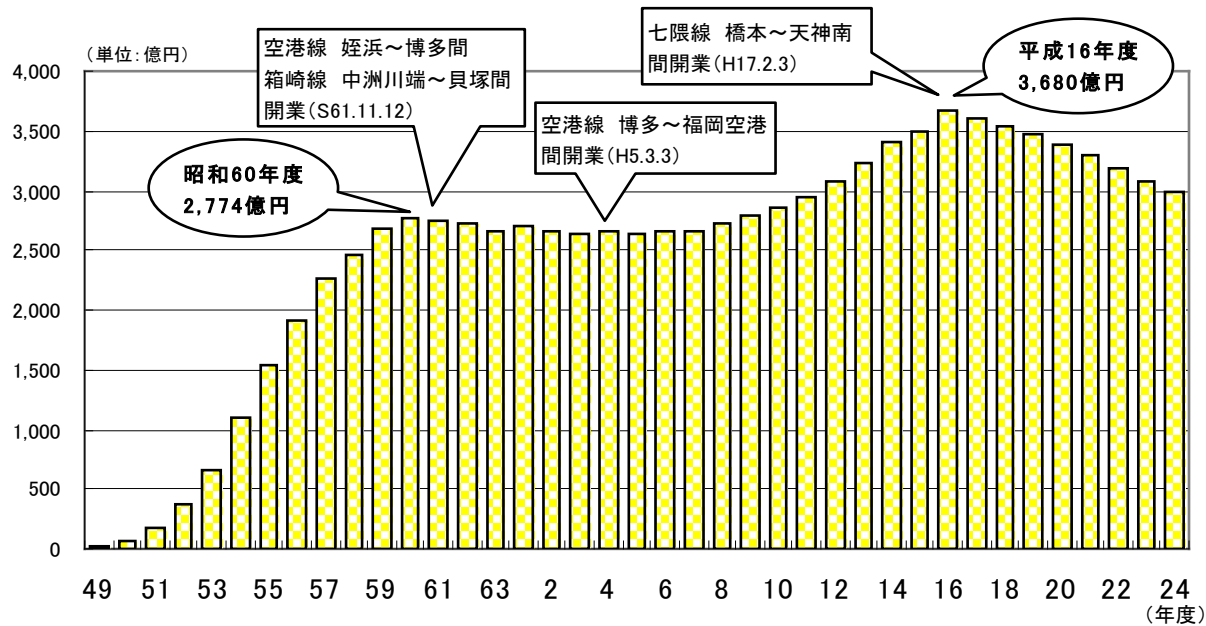
(2) 乗車人員の推移



(3) 損益収支の推移

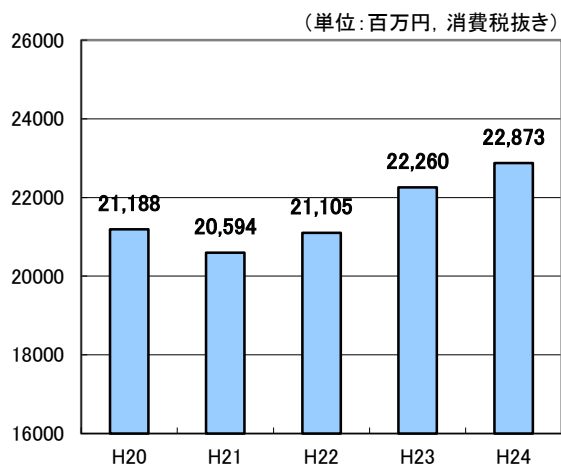


(4) 企業債残高の推移

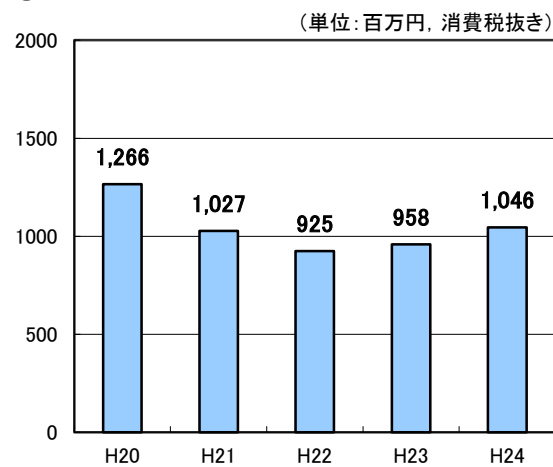


(5) 乗車料収入等の推移

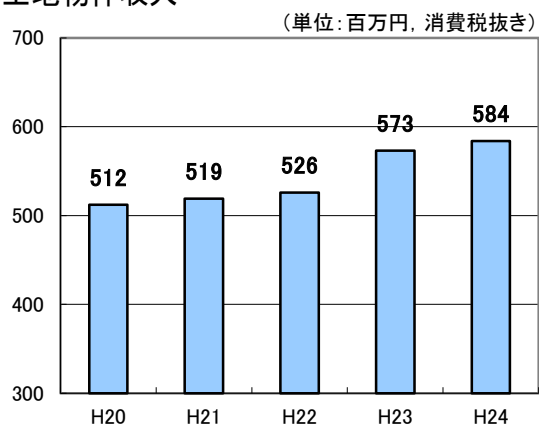
① 乗車料収入



② 広告料収入

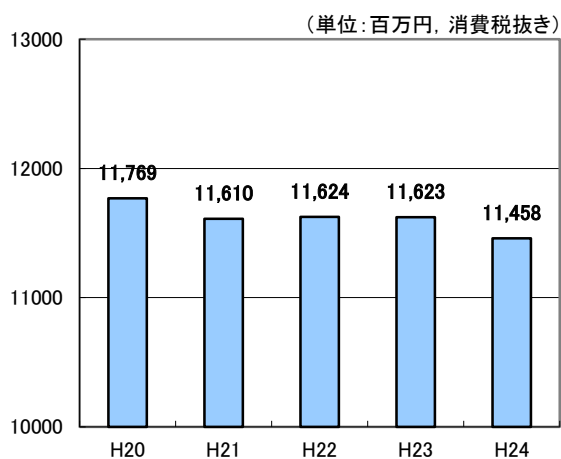


③ 土地物件収入

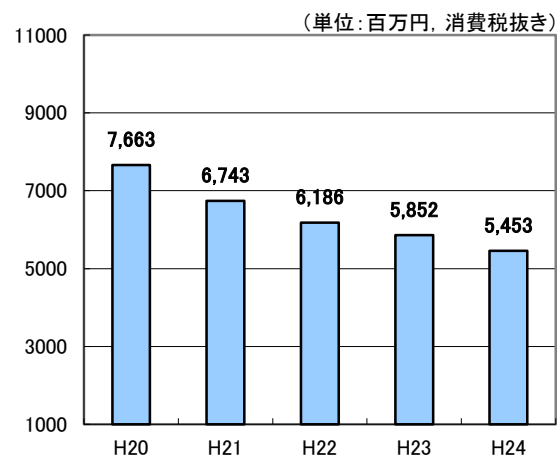


(6) 給与費・物件費等の推移

① 給与費・物件費



② 支払利息

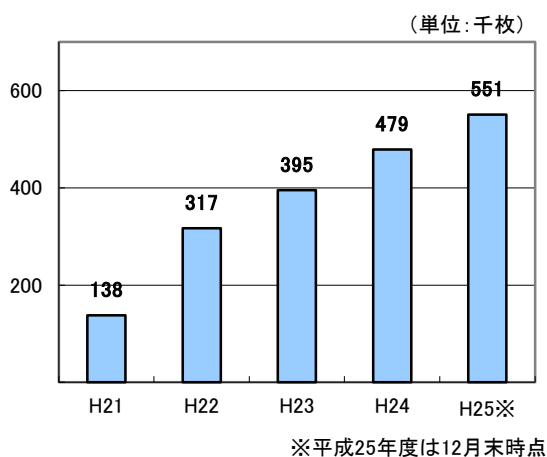


(7) ICカード関係

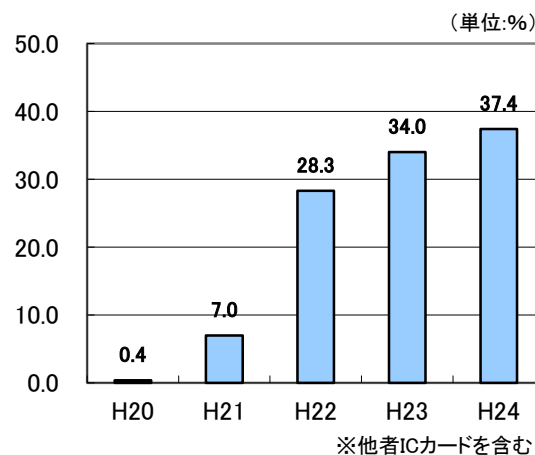
① ICカード「はやかけん」の導入経緯等

| 年月 | 内容 |
|---------|--|
| 平成21年3月 | ICカード「はやかけん」サービス開始 |
| 平成22年3月 | 相互利用開始(「nimoca」、「SUGOCA」、「Suica」との4者間) |
| 平成22年3月 | 電子マネーサービス開始 |
| 平成22年5月 | 福岡市施設(区役所・博物館等)における電子マネー決済の開始 |
| 平成25年3月 | 交通系ICカード全国相互利用開始(10者間) |

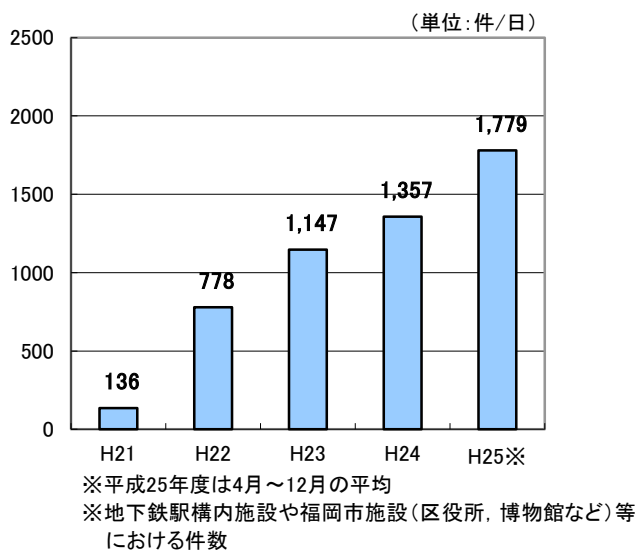
② ICカード「はやかけん」発行枚数(累計)



③ 定期外利用に占めるICカードの割合



④ 電子マネー利用件数(1日あたり)





〒810-0041 福岡市中央区大名2丁目5-31

<http://subway.city.fukuoka.lg.jp>